

## 「森林浴お墨付きを」

大分市セラピー基地調査開始

NPO法人森林セラピーンサエティの「森林セラピー基地」認定に向けた調査が、大分市で始まった。市は高崎山など総面積の約7割を基地として申請。森林浴効果に科学的な

初日の13日は千葉大の宮崎良文教授（自然セラピー学）らが、緑なす同市上判田と街中の同市府内町の交差点に被験者12人を2班に分け、血圧や脈拍数を測定。リラックスの差を調べた。同NPOは、人を迎え入れる準備態勢や、森の歴史文化も審査し、来春認否を判断する。

認定にかかる市予算は296万円。市産業振興課は「認定を機に市民や観光客にハイキングや森林浴を推奨したい」としている。

【土本匡孝】